

新教育長に武田芳秋氏が就任、就労継続支援A型事業所がオープン

前教育長の齊藤仁氏が通算3年9ヶ月教育長を務め、6月30日をもって辞任したことに伴い、新たな教育長に武田芳秋氏が任命されました。

これまでの教育委員会は、教育行政の事務を行う事務局の責任者である教育長と教育委員の代表者である教育委員長の二人の「長」が存在し、どちらが責任者かわかりにくいなどの課題がありました。こうした課題を受け、昨年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員長を廃止し、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置が盛り込まれました。齊藤教育長の任期の平成30年9月30日までは、現行制度の教育長として在職する予



武田芳秋教育長

新教育長に 武田芳秋氏が就任 教育委員長が廃止 教育長と教育委員長が一本化

定でしたが、辞任されたことにより教育委員長と教育長が一本化された新しい教育長が誕生しました。教育長の任期は、法律の改正により4年間から3年間に変わり、平成31年6月30日までです。また、町教育委員会は、武田教育長、湯浅健委員（教育長職務代理者）、浦山兼一委員、飯田泰雅委員、太田百美子委員の5人で構成されます。

齊藤 仁教育長が勇退

齊藤仁教育長が6月30日をもって辞任することに伴い、役場庁舎で勇退セレモニーが行われました。町職員約70人が見守る中、齊藤教育長は「在職約38年間のうち半分近く教育行政に関わった。今後は町民の一人として町の発展に協力していきたい」とあいさつしました。



花束を受け取る齊藤仁元教育長

自信を持って暮らせる社会をつくる 就労継続支援A型事業所「ココロコト勝」がオープン

株式会社ピークス（土井雅史代表取締役）が運営を行う就労継続支援A型事業所「ココロコト勝」の開所式が6月29日、同所で行われ、関係者ら20人が出席しました。

この就労継続支援A型事業所は、一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を提供することにも、生産活動を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを提供することを目的としています。その中でもA型事業所は、雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障する仕組みの雇用型事業所を指します。

7月1日にオープンした同事業所では、個人農家への農作業を基本とした派遣を実施予定で、その他、個人の能力に応じて事業所でコーディネートし、チャレンジする環境を作るといふことです。この事業所には、土井代表のほか、スタッフ4人（森深雪管理責任者、木村康子生活指導員、山田佳子サービス管理責任者、杉原元職業指導員）が勤務し、利用者への支援を行っています。

土井代表は「なかなか社会参加できないという人が町や周辺地域にいらっしやる。今後、仕事、家庭



土井代表、森さん、木村さん、山田さん、杉原さん（写真左から）

岩佐さんら2人が叙勲を受章、平成28年度防犯功労者表彰 ほか

地域の防災に尽力 岩佐さんら2人が叙勲を受章

春の叙勲で瑞宝単光章（消防功労）を受章された岩佐彰さんと、第26回危険業務従事者叙勲を受章された松田義啓さんへの伝達式が6月24日、新得消防署で行われました。

岩佐さんは、昭和44年11月に新得町屈足消防団に入団後、平成16年から平成18年までの2年間にわたり西十勝消防組合屈足消防団副団長を務め、卓越した指導力と旺盛なる責任感を持つてその重責を全うしている姿勢は、団員はもとより地域住民からも称賛され、伝統ある屈足消防団の精鋭化に努め、住民が安心して過ごせる町づくりに尽力されました。

松田さんは、昭和46年4月に西十勝消防事務組合新得消防署に奉職し、平成13年から平成20年まで新得消防署消防司令を務められ、奉職以来36年間にわたり消防人として災害のない町づくりを実践してきた功績が認められ、栄えある受章にいたしました。

伝達式では、関係者らが出席のもと、十勝総合振興局の橋本幸尚地域創生部長から賞状が伝達されました。



受章された松田さん



受章された岩佐さん（左）と妻のマキ子さん

また、岩佐彰氏の受章祝賀会が6月25日、屈足総合会館で開かれ、関係者ら約100人が受章を祝いました。

岩佐さんは「この受章は屈足消防団をはじめ、地域の方々の協力があったからこそ。この勲章に恥じないように残りの人生、地域のために尽くしていきたい」と話すとともに、「今まで長い間、精一杯支えてくれた。支えがなければ今まで活動を続けてこれなかつた」と涙を浮かべながら妻のマキ子さんに感謝を述べていました。

長年の功労に表彰 平成28年度防犯功労者表彰

平成28年度防犯功労者表彰で、「北海道警察釧路方面本部長・釧路方面防犯協会連合会長表彰」として西川健さん、「北海道警察本部長・北海道防犯団体連合会理事長表彰」として金田幸光さんが表彰されました。

西川さんは、平成17年から防犯協会理事として、多年にわたり地域の防犯活動に取り組み、非行防止活動や歳末防犯活動など地域の犯罪防止活動に多大な貢献をされています。

金田さんは、昭和58年から多年にわたり屈足防犯協会理事として、地域の防犯活動に率先して取り組み、青少年の健全育成への指導など地域の犯罪防止活動に多大な尽力をされています。



左から西川さん、金田さん

先人の苦勞を偲ぶ 苦闘の碑・鎮魂の碑慰霊式

鉄道工事犠牲者を追悼する「苦闘の碑慰霊式」（町観光協会主催）が6月24日、狩勝高原園地にある碑の前で行われ、清水輝男会長など21人が参加し、労働者の冥福を祈りました。

旧狩勝線の落合ー新得間の工事には常時千人以上の人々が働き、トンネルの掘削工事では多くの労働者が犠牲になったと伝えられています。

また、この日には屈足湖畔にある「開拓労働者鎮魂の碑慰霊式」（町主催）も行われ、拓殖鉄道や北電岩松ダム工事などで過酷な条件下で働いた労働者に哀悼の意をさげました。



生活、将来までいろいろな面で支援を行っていく。『自信をもって暮らせる社会をつくる』ことを目的にみんなで一緒に成長していく施設にしたい」と決意を述べました。

また、他の4人のスタッフも「自然の力を借りて働く大切さを一緒に学んできた」（森さん）、「どんな仕事をするかではなく、どんな心で接するかを勉強させてもらいながら頑張ってきた」（木村さん）、「暖かい陽だまりのような事業所にしたい」（山田さん）、「皆で力を合わせて頑張り、楽しい福祉を目指したい」（杉原さん）とそれぞれ決意を述べました。